

# MARTIN AUDIO CDD シリーズ

## CDD シリーズ ユーザーガイド



## CDDシリーズラインナップ



CDDモデルラインナップは下記の通り6つのフルレンジモデルといくつかのサブウーファー (SXシリーズ)モデルからなります(SXシリーズは下記以外のモデルもございます)。各スピーカーの技術的仕様については各モデルの仕様書別途参照ください。

	モデル	低域ドライバ	高域ドライバ	低域-3dBポイント	定格出力(RMS)
A	CDD5	5" (125 mm)	0.7" (19 mm)	100 Hz	100 W
B	CDD6	6.5" (165 mm)	1" (25 mm)	80 Hz	150 W
C	CDD8	8" (200 mm)	1" (25 mm)	70 Hz	200 W
D	CDD10	10" (250 mm)	1" (25 mm)	65 Hz	250 W
E	CDD12	12" (300 mm)	1" (25 mm)	62 Hz	300 W
F	CDD15	15" (380 mm)	1.4" (35 mm)	55 Hz	400 W

### サブウーファー:

	モデル	低域ドライバ	低域-3 dBポイント	定格出力(RMS)
G	SX112	1 x 12" (250 mm)	48 Hz	400 W
H	SX212	2 x 12" (250 mm)	48 Hz	800 W
I	SX118	1 x 18" (460 mm)	40 Hz	1000 W
J	SX218	2 x 18" (460 mm)	35 Hz	2000 W

カラーバリエーションは以下の通りです。

- 白 - 末尾'W'のモデル
- 黒 - 末尾'B'のモデル
- カスタムRALカラー - 末尾'RAL'のモデル

## CDDモデル専用アクセサリ

### 取付用アクセサリ

取付金具オプションは以下の通り様々ご用意ございます。

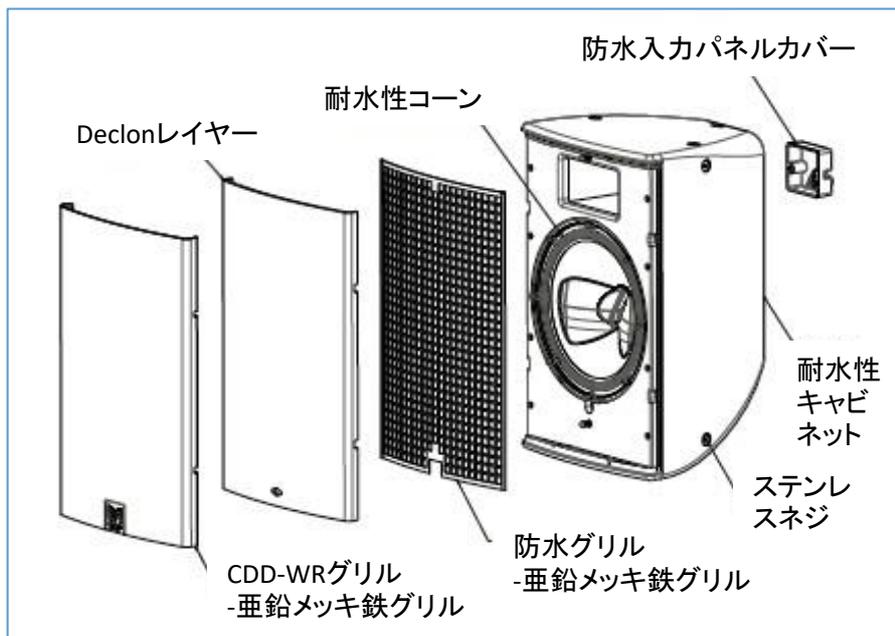
- 壁取り付け用金具-フルレンジのCDD12以下のモデル用をご用意。
- 天井取り付け用金具-フルレンジのCDD5, CDD6, CDD8のモデル用をご用意。
- ヨーク金具-天井取り付けおよび壁取り付けに対応でき、フルレンジのCDD10, CDD12, CDD15のモデル用をご用意。
- 全てのフルレンジモデルは共通の取付金具の手順で設置できます。アイボルトは全てのモデルに使用でき、SXサブウーファーモデルもアイボルトを使用して吊り設置することが可能です。

ブラケットとヨーク金具は、キャビネットの色に合わせて選べる黒と白のバリエーションがございます。

## 防水(ウェザーライズド)モデル

全てのCDDモデルは防水仕様モデルもあり、これらは型番の最後に“- WR”がつくモデルになります。防水仕様モデルは黒色と白色のご用意がございます。

防水使用のCDDはグリルに2つのレイヤーが追加されており、防塵Declon®レイヤー、亜鉛メッキ鉄グリルの防水レイヤーが追加されています。低域ドライバのコーンは耐水性のプルーフ塗料で仕上げられています。リアの入力パネルには防水用のガasketカバーが付属しており、各設備用のネジ部にはステンレスネジが使用されています。これによりWRシリーズはIP54相当のIP等級となっています。



## CDD マウント用アクセサリ

### 壁, 天井 取付ブラケット

壁取付金具はCDD12までのモデル、天井取付金具はCDD8までのモデルに用意があります。(CDD10, CDD12, CDD15にはヨーク金具の用意もございます。)

壁、天井取付金具はCDDキャビネットに対して縦使い、横使い両方とも対応しています。  
(横使いの際はCDDドライバーの方向を変更する必要があります。)

CDD5モデル用金具各種:

### 壁取付ブラケット- 型番: ASM10002 (黒), ASM10001 (白):

CDD5には壁取付ブラケットが標準で付属されています。



### 天井取付ブラケット- 型番: CDDCB5B (黒), CDDCB5W (白):

CDDの天井取付ブラケットは、右図のようにスピーカーと天井取付金具の間に、壁取付ブラケットを併用して使用します。



CDD6, CDD8モデル用金具各種:

以下はCDD6,CDD8兼用の壁取付,天井取付ブラケットです。

**壁取付ブラケット- 型番WB6/8B (黒), WB6/8W (白)**



**天井取付ブラケット- 型番CDDCB6/8B (黒), CDDCB6/8W (白)**



CDD10, CDD12モデル用金具各種:

以下はCDD10,CDD12兼用の壁取付,天井取付ブラケットです。これらはCDD6,CDD8のブラケットと構造が同じで金具の大きさの違いのみになるため、外観は上記CDD6,CDD8用金具の写真を参考ください。

**壁取付ブラケット- 型番WB10/12B (黒), WB10/12W (白)**

**天井取付ブラケット- 型番CDDCB10/12B (黒), CDDCB10/12W (白)**

### ヨークアッセンブリー

ヨークアッセンブリーはCDD10, CDD12, CDD15用の用意がございます。CDD15用については、ヨークアッセンブリー金具のみの用意となります。

ヨークアッセンブリーは横使い使用のみのため、ドライバーの回転作業が必須となります。次ページを参照ください。

※ヨークアッセンブリーはCDD12, CDD15用どちらも同じ外観で大きさのみ異なるため、CDD12用のヨークアッセンブリーの外観写真のみ掲載します。

CDD10用ヨークアッセンブリー:

ヨークアッセンブリー 型番:CDDY10B (黒), CDDY10W (白)

CDD12用ヨークアッセンブリー:

ヨークアッセンブリー 型番:CDDY12B (黒), CDDY12W (白)



CDD15用ヨークアッセンブリー:

ヨークアッセンブリー 型番:CDDY15B (黒), CDDY15W (白)

### アイボルト

全CDDモデルはオプションのアイボルト金具を使用することで取付もできます。

※アイボルト使用時は、必ず純正パーツ仕様に則った肩付き、ネジ長さ30mmのものをご使用ください。これより長いものを使用すると、スピーカー内部基盤に干渉し、破損の原因となります。

アイボルト 型番: HTKCT05 (8 mm dia.)

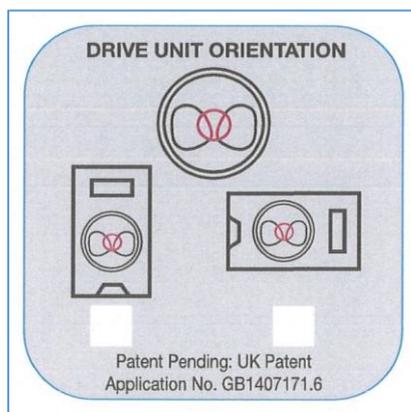


## ドライバー回転について

CDDスピーカーは縦使い使用を想定したドライバーの向きで納品いたします。右図のように横使いで設置する場合は内部ドライバーの向きを変更してご使用ください。



非対称拡散テクノロジーを採用しているため、取付けの向きを間違えると製品の能力を十分に発揮できない恐れがあります。下図赤部分がV字型となる方向が正位置となるため、施工時の取付方向をお間違えなきようご注意ください



ドライバー回転は以下の手順で行います。

1. エンクロージャーをグリル上にして安定した場所に置きます。
2. 次ページのグリルの開け方を参照し、グリルを取り外します。
3. (CDD5の場合) 2番ポジドライバー、もしくは六角レンチ(CDD6:2.5mm角, CDD8/10:4mm角, CDD12/15: 5 mm 角)を使用して、ドライバーを固定するネジとワッシャーを外します。
4. ゆっくりとドライバーをキャビネットから浮かせて上記図の通りに適切に90°回転させます。
5. ネジとワッシャー取付なおしドライバーをキャビネットに固定します。ネジは対角順に止めて均等に締め込みます。
6. グリルを取り付けなおします。
7. 後述するバッジの回転方法を参照し、バッジを回転します。

## スピーカーグリルの開け方

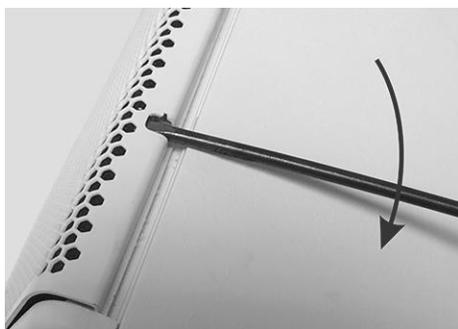
CDD Seriesのスピーカーグリルは取り外しを容易にするため、グリルの剛性を利用してキャビネットの溝にはめ込んだ固定方法(もしくはプラスネジ止めの併用)を採用しております。取り外しには、マイナドライバーなどの平たな工具(ネジ止めされているモデルはプラスドライバーもご用意ください)を利用すると取り外しが可能です。



1. グリル側面の差し込み口を確認します。ネジ止め部分がある場合はプラスドライバーを使用しネジを取り外します。



2. 差し込み口に工具を図のように差し込みます。(差し込み口が3点ある場合は、真ん中以外に差し込みます)



3. テコの要領で工具をキャビネット側に倒します。グリルが浮き上がり、キャビネットの溝からグリルのツメが外れたことを確認します。  
※新品の場合はグリルの剛性が高く、取り外しに力を要することがあります。



4. 工具を起こすことで、グリルが取り外れます。外れない場合は、グリル反対の差し込み口に対しても同様の手順を行います。

## バッジ回転方法

CDDシリーズのグリルバッジはモデルによってバッジの固定方法が異なります。下記を参照し、グリルバッジを交換もしくは回転してください。

### CDD5,CDD-MARシリーズの場合

#### ロゴバッジ回転および交換手順



グリルを取り外します。  
図のようにX字型の溝にバッジが嵌め込まれた状態で固定されています。



指でバッジのX字の部分を押し込むことで、図のようにグリルバッジがずれ、グリルとの間に隙間をつくれます。



指やマイナスドライバーなどを使って隙間を広げることで、図のようにグリルバッジが外れます。適切に回転させてバッジを逆の手順で取り付けなおします。もしくは新しいバッジを取り付けます。

## CDD6,CDD8,CDD10,CDD12,CDD15 (WRシリーズ含む)の場合

上記のモデルの場合、ロゴバッジはグリルにスプリング構造で留められています。回転の場合はグリルを取り外すことなく簡単に回転できます。交換の場合は、下記手順に従い、交換を行ってください。

### ロゴバッジ回転手順

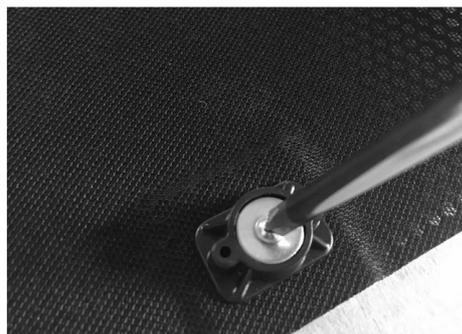


グリルとバッジの隙間にマイナスドライバーなどを入れてロゴバッジを少し浮かせて、ロゴバッジを90°回転させます。

### ロゴバッジ交換手順



1. グリルを取り外します。  
図のように1つの+ネジでバッジが固定されています。



2. ポジ+ドライバーを使用して、図のように+ネジを取り外します。



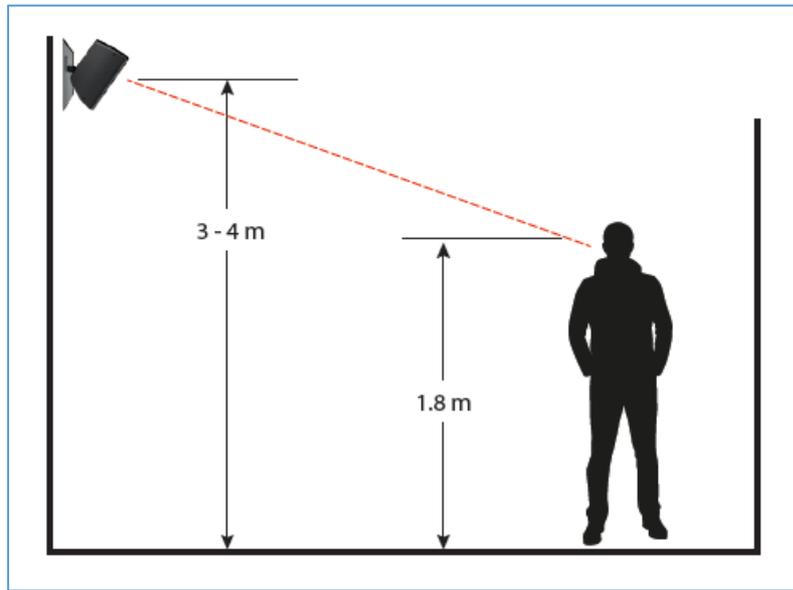
3. +ネジとドーナツ型のワッシャを取り外すと、図のようにスプリングが出てきますので取り出します。



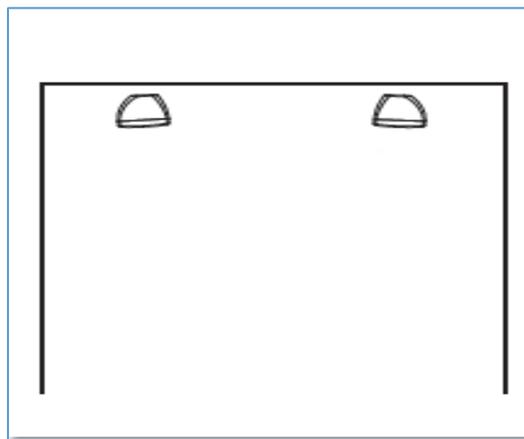
4. グリルバッジが図のように取り外せます。交換するバッジを逆の口順で取り付けます。

## 設置位置のすすめ

CDDシリーズは非対称拡散の特徴をより活かすため、オーディエンスの耳位置よりも高い位置で設置することをお勧めします。チルトの角度については一般的にスピーカーの軸が部屋の最も遠いリスナーの耳位置、もしくは若干下を狙うような角度で設置するのが良いでしょう。ただし、ディレイスピーカーなどを使用したシステムに関してはこの限りではありません。



CDDの水平指向角は平面図で四角いカバレッジになるよう設計されています。そのため、CDDの設置位置については四隅に設置するのではなく、下記図のように四隅から離れた位置に設置することを強く推奨いたします。



## 壁取付け手順

## CDD5の場合

CDD5の壁取付ブラケットは3つのパーツから成ります。

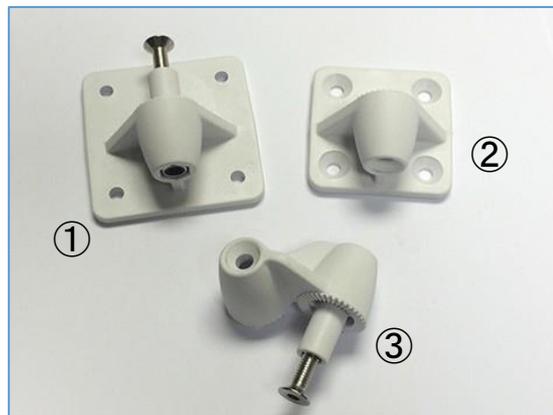


水平および、垂直の角度設定は4mm六角レンチを使用し、中心パーツの六角ネジを緩めて角度を調整します。

パーツは、

- ① 壁取付側の45mm間隔有孔の四角いパーツ(大)
- ② スピーカー側の35mm間隔有孔の四角いパーツ(小)
- ③ ジョイント部品

で成り立ちます。



もし、パンもしくはチルトどちらかのみしか変更しない場合、ジョイント部品を省いて取り付けることもできます。その場合は四角いパーツ同士を直接接続して取付を行ってください。

壁取付側のパーツを図のように取り付けます。  
もし、ジョイント部品を省略する場合はパンのみ調整できる取付方法です。



もし、ジョイント部品を省略しチルトのみを調整する場合は下記図のように取り付けても構いません。



なお、CDD5を取り付ける壁は2.7kgの重量を十分安全に取り付けられる耐荷重であることを確認してください。

縦使いの場合は、キャビネット側のブラケットは下記図の”下部”に取付けてください。



横使いの場合は“上部”に取り付けてください。



キャビネット側のブラケットは前述のページの法則に則って下記図のように取り付けます。



下記図のようにスピーカー側のブラケットと壁側のブラケットをはめ込んで、六角レンチでブラケットを接続し、固定します。この時、パンやチルトが希望通りの角度になるようにブラケットの噛み合わせ部分を調整したうえで六角ネジを締め込みます。



### 壁取付手順(CDD6, CDD8, CDD10, CDD12)

WB6/8B(W)およびWB10/12B(W)は2つのパーツから成ります。CDDの背面の取付ネジを使用して取り付けることで縦使いもしくは横使いで使用できます。型番から連想できるように、WB6/8はCDD6もしくはCDD8用の壁取付金具、WB10/12はCDD10もしくはCDD12用の壁取付金具となります。どちらのモデルも下記図のように大きさのみの違いで構造は変わりません。黒と白のモデルの用意がございます。



横使いで使用する際は、必ずCDDのドライバーを90°回転させることを忘れずに行ってください。

### 壁取付方法(CDD6～CDD12)

WB金具は2つのパーツから成ります。2つのパーツは下記図の通り六角ネジを取り外すことで分解できます。

①壁取付側の金具

②スピーカー取付側の金具

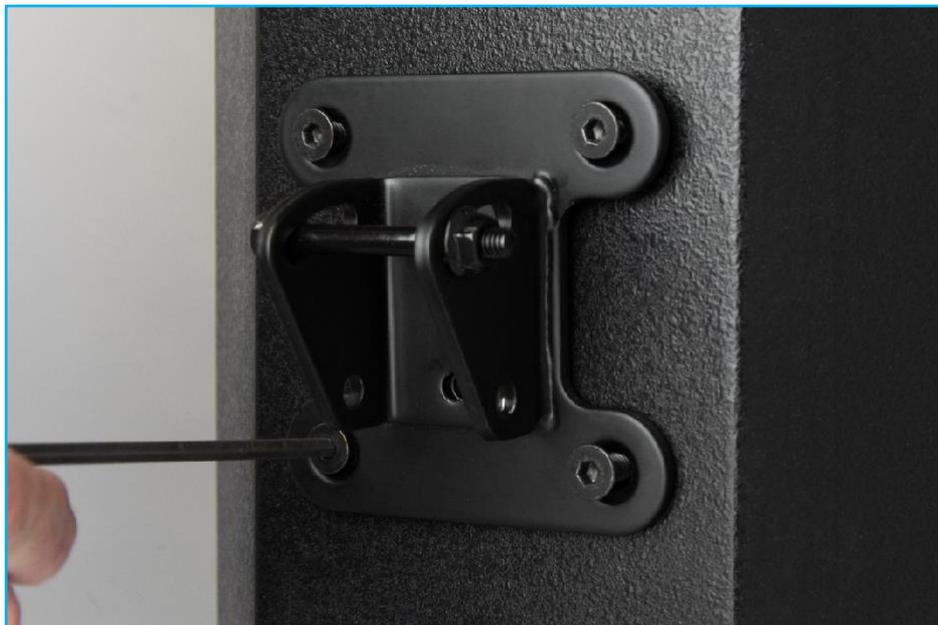


まず上記図の通り、金具をパーツに分けます。

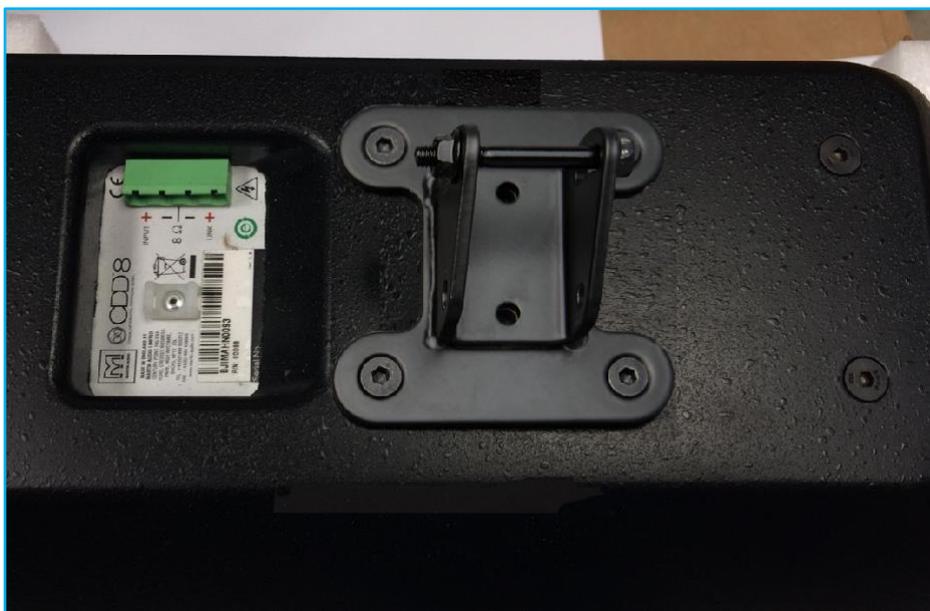


その後、下記図の通り壁取付側の金具のみを壁に取り付けます。

次に、スピーカー側の取付金具を下記図のように取り付けます。

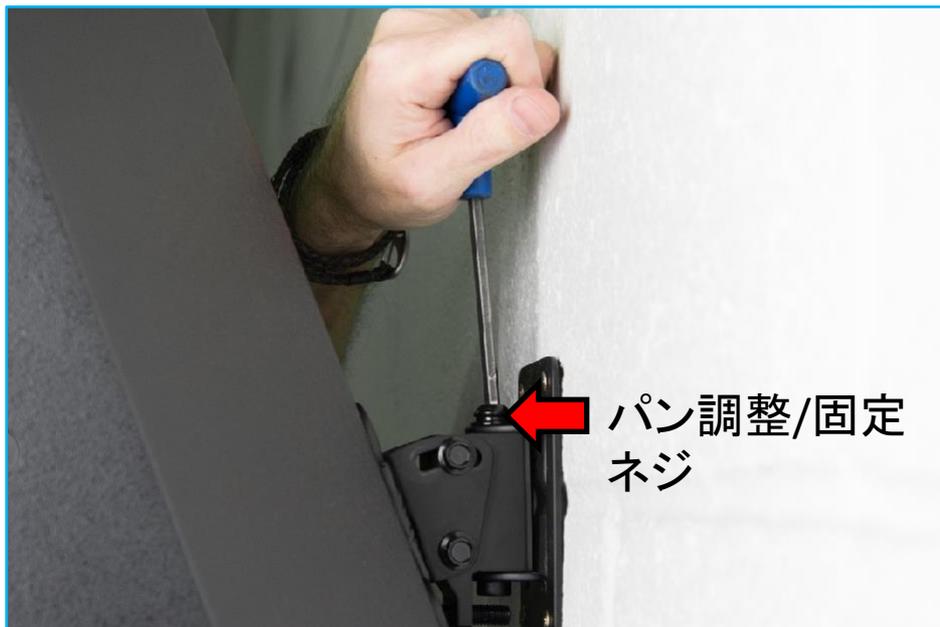


横に取り付ける際は下記図のように金具を90°回転させた角度で取り付けます。この時、金具を取り付けるのはスピーカー端子に近い側の4つのネジを使用します。





上記図のように、スピーカー側金具の上部六角ネジを壁取付側金具の上部引っ掛けにとりつけてから、下の六角ネジ穴に六角ネジをはめ込み、固定します。



パン調整用のネジとチルト調整用ネジを使ってスピーカーのパンとチルトを調整します。パン調整は上図の六角ネジを軽く緩めることで調整でき、調整を完了したらネジを締めこんでパンを固定します。  
なお、パン調整ネジはM5(WB6/8)もしくはM6(WB10/12)の六角ネジとなります。



チルト調整はチルト固定ネジを軽く緩め、チルト調整ネジを回すことによってスピーカーチルトを調整します。チルトが決まったら、チルト固定ネジを締めこんでチルトを固定します。

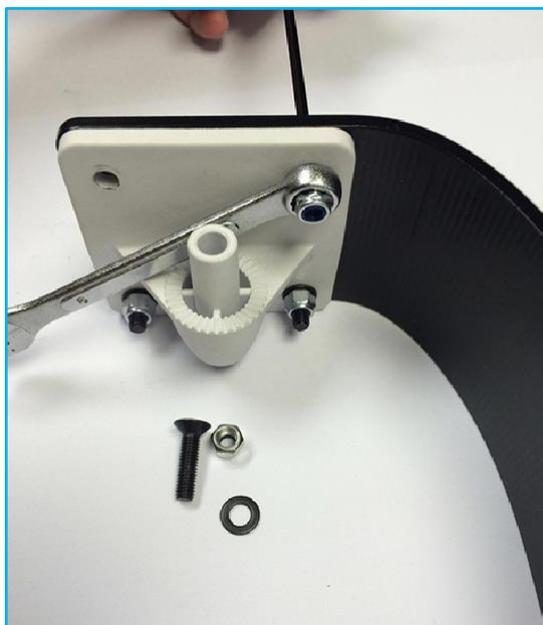
## 天井取付手順

### CDD5の場合

CDDCB5B(W) 天井取付ブラケットはCDD5に標準付属されている壁取付ブラケットと併用して使用します。



まずはじめに、壁取付ブラケットを分解します(壁取付手順参照)。壁取付側のパーツのみを下記図のように、六角レンチと六角ドライバを使用して、壁取付ブラケットと天井取付金具を合体させます。図のように六角ナットの下にワッシャーを忘れずに入れてください。



この状態でシーリング金具を天井に取り付けます。天井取付用に5.5mm径の穴x3と8.5mm径の穴x1が用意されていますのでそれらを使用します。



付属の壁取付金具のスピーカー側をCDD5に下図のようにスピーカー端子に近い“上部”の六角ネジを使用して取付ます。



**注意:**横使いの場合は必ずスピーカードライバーを90°回転させてください。

縦使いの場合はスピーカー端子から遠い“下部”の六角ネジを使用して取り付けてください。

ただし、この場合はスピーカードライバーを180°回転し、スピーカー端子が下側になるようスピーカーを取り付ける必要があります。(次ページの画像参照)



縦使いの場合は上図のように、横使いの場合は下図のように取り付ければ完了です。



### 壁取付手順(CDD6 およびCDD8)

CDDCB6/8B(W)はCDD6およびCDD8スピーカーを天井取付することが可能な金具です。



まず、金具を下記図のようにM6六角ネジを外して天井取付側の金具とスピーカー取付側の金具に分解します。



この状態でシーリング金具を天井に取り付けます。天井取付用に13mm径の穴x3と6.5mm径の穴x1が用意されていますのでそれらを使用します。



スピーカー側金具をCDDに下図のように取り付けます。下図は横使いの場合です。

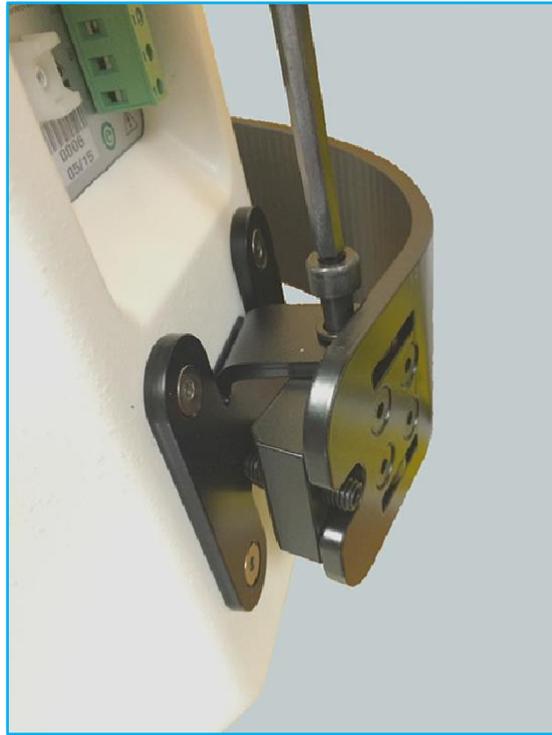
縦使いの場合は金具を90°回転させた状態で取り付けてください。その時、CDD8はスピーカー端子から遠い”下部“の六角ネジを使用して固定します。



**注意:横使いの場合は必ずスピーカードライバーを90°回転させてください。**

縦使いの場合はスピーカー端子から遠い”下部”の六角ネジを使用して取り付けてください。

ただし、この場合はスピーカードライバーを180°回転し、スピーカー端子が下側になるようスピーカーを取り付ける必要があります。(2ページ後の画像参照)



上部図のように天井取付側の金具にスピーカーを取り付け、六角ネジで固定、締め込みます。  
下図のように六角ネジでチルト調整用のネジを調整し、スピーカーのチルト角度を調整します。



**注意:横使いの場合は必ずスピーカードライバーを90°回転させてください。**

縦使いの場合はスピーカー端子から遠い“下部”の六角ネジを使用して取り付けてください。

ただし、この場合はスピーカードライバーを180°回転し、スピーカー端子が下側になるようスピーカーを取り付ける必要があります。(次ページの画像参照)



T縦使いの場合は上図のように取り付けます。前ページにあるとおりチルト角度を調整します。

### ヨークアッセンブリー取付手順

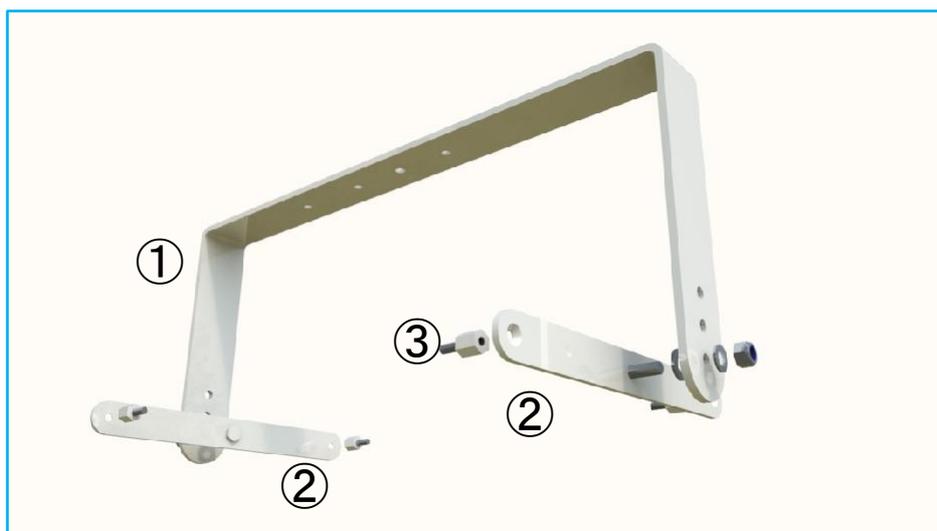
CDDY10, CDDY12およびCDDY15はCDD10, CDD12およびCDD15を横使いで設備取付を行う際に使用する金具です。

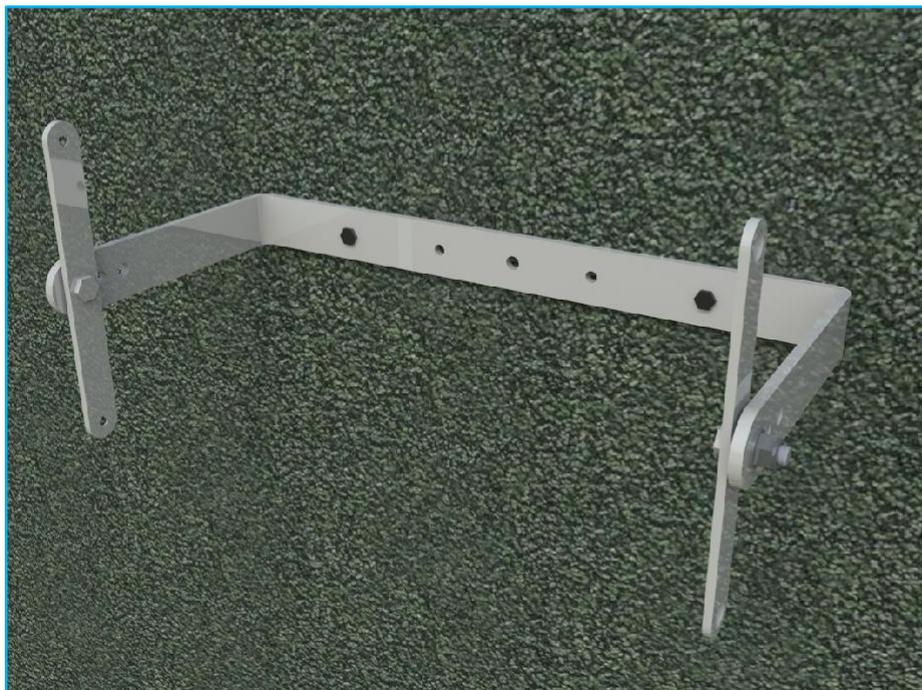
**注意: 取付前に必ずスピーカードライバーを90°回転させてください。**

それぞれのヨーク金具は大きさの違いのみで取付方法は共通です。

ヨーク部品は主に3つのパーツで構成されています。

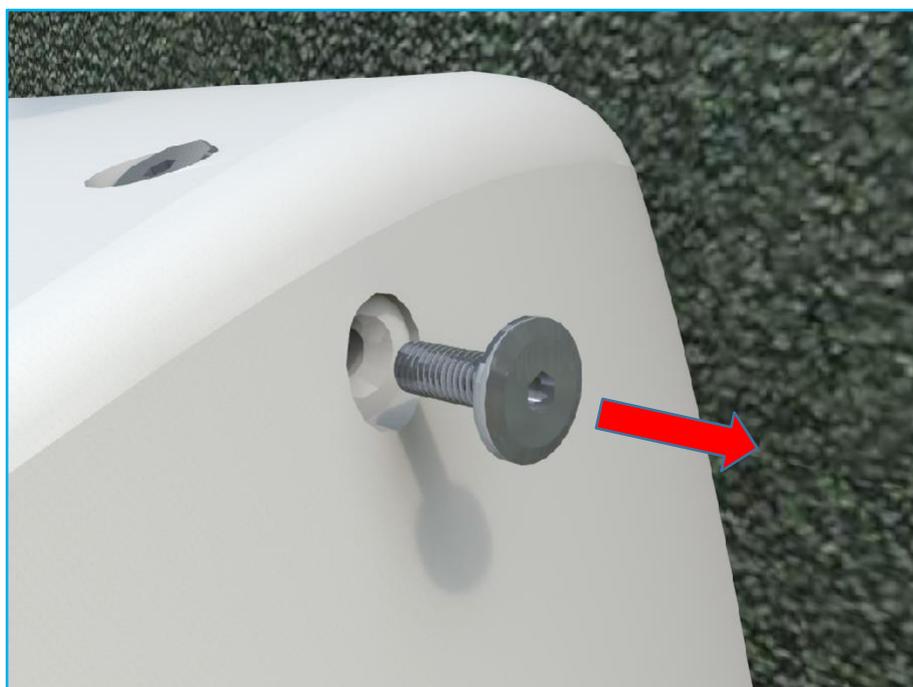
- ① ヨーク金具自身
- ② サイドバー x2
- ③ スペーサーネジ x4



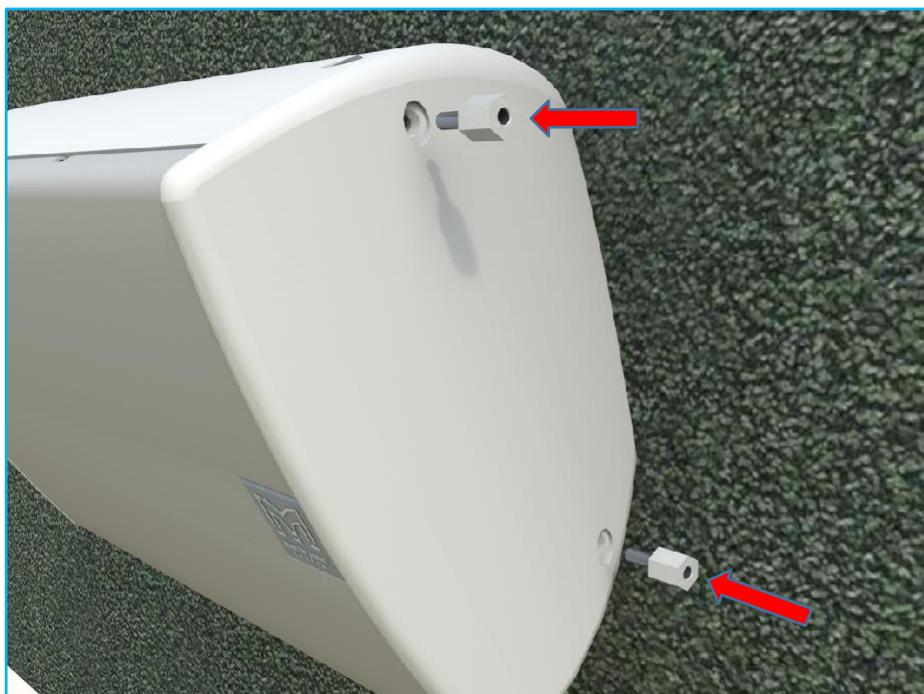


**注意: 取付前に必ずスピーカードライバーを90°回転させてください。**

まずスピーカーのM8ネジを下記図の通り上下の計4か所外します。スピーカーの上下には各2か所以上のネジがついていることがあります。外すのはグリル側についている各2か所です。



ネジを取り外した部分にヨーク金具に付属するスペーサーネジを、下記図のように取り付けます。



スペーサーネジとサイドバーを六角ネジを使用して取り付けます。

ヨーク金具の両側にはそれぞれ3つの10.5 mm穴が17.5 mm間隔であいています。通常は一番下の穴を選択してください。やむを得ずヨーク金具に可能な限りキャビネットを近づけたい場合は任意で上2つの穴を使用できます。ただしこの場合はスピーカーのチルト角度に制限がかかる場合があります。





ヨークアッセンブリー金具の壁取付設置例

### **ヨーク金具を使用したポールマウント(床面など)設置**

ヨークアッセンブリー金具は壁や天井に取り付けることが通常ですが、発想を転換するとポールマウントや床面の設備設置も実現できること気づくでしょう。ポールマウント使用時はポールマウントアダプターであるASF20045-Jと組み合わせることで使用できます。

### CDDシリーズのアイボルト設置

CDD10, CDD12およびCDD15にはスピーカーのキャビネットにアイボルト/ヨーク金具設置用のM8ネジ穴が設けられています。これとM8アイボルト(HTKCT05)とワイヤーロープを使用して天吊り設置をすることができます。

アイボルトによる設置では、縦使いおよび横使い両方使用が可能です。

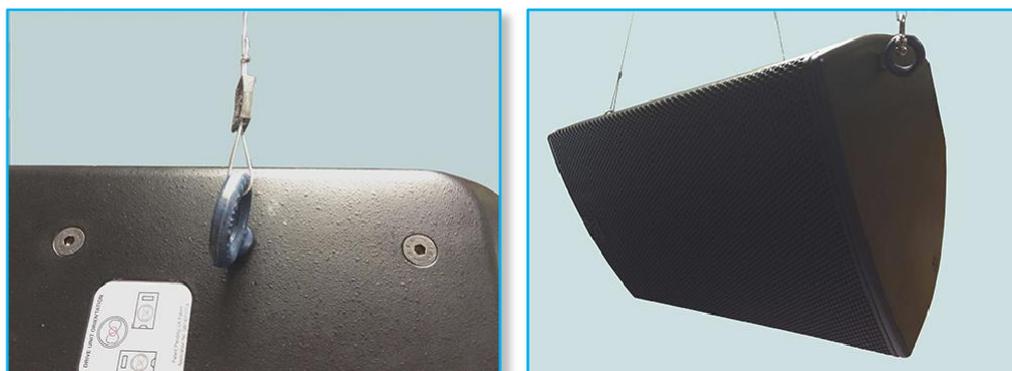
**注意: 横使いの場合は必ずスピーカードライバーを90°回転させてください。**

M8用のネジ穴は上部に3か所、下部に2か所、側面に各2か所、背面に1か所の計10か所用意されています。任意のネジ穴を使用して設置が可能です。通常は、ある一面の2か所で天吊りし、(必要であれば)背面などの1か所を使用してスピーカーのチルトを調整、それ以外の1か所で落下防止のセーフティーを取るようになるでしょう。

下記図ではスピーカー上部前面の2か所で天吊りし、背面の1か所でチルト調整用のアイボルトを設置して取り付けています。



また下記図では、各側面の1か所(両側で計2か所)で天吊りし、背面の1か所でチルト調整用のアイボルトを設置して取り付けています。

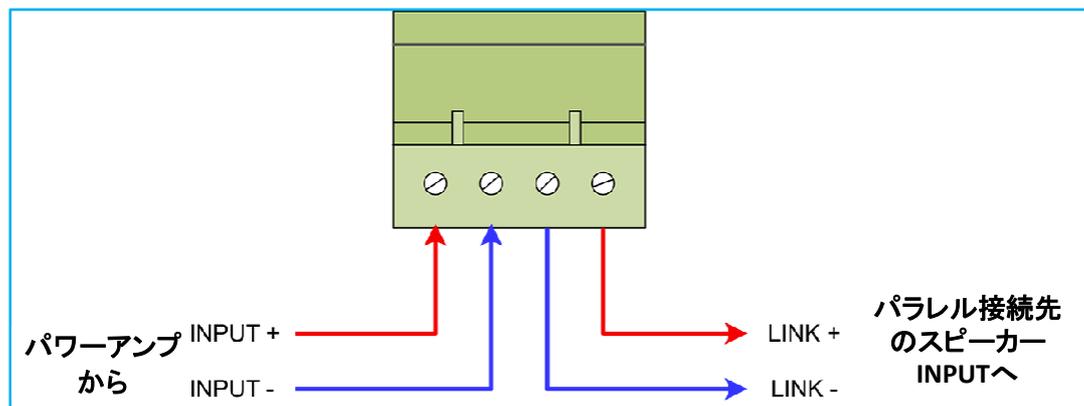


## スピーカー接続について

CDDシリーズは4ピンのユーロコネクター(13 A : CDD5, CDD6, CDD8、20 A : CDD10, CDD12, CDD15)を使用しています。

スピーカーのピンアサインは下記図の通りになります。

スピーカー背面にINPUTとLINKの印字があるのでそれを確認の上、配線をしてください。



### WR (対候性)シリーズ

WRシリーズは標準で下記図のような入力パネルカバーが装着されています。スピーカーのケーブルをケーブルキャップへ通したうえでスピーカーの入力へ接続してください。カバーは下記図で確認できる通り、六角ネジを外すことで外すことでカバーを脱着できるようになります。

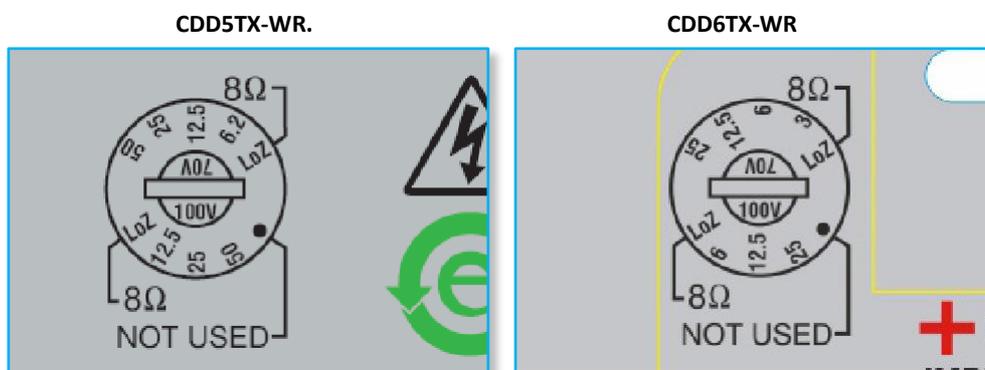


## インピーダンス

全てのCDDシリーズのインピーダンスは8Ωです。トランス付き(TX)モデルは下記図のタップでLoZ設定時のみ8Ωとなります。

### 70/100Vライン(ハイインピーダンス) ※TXモデルのみ

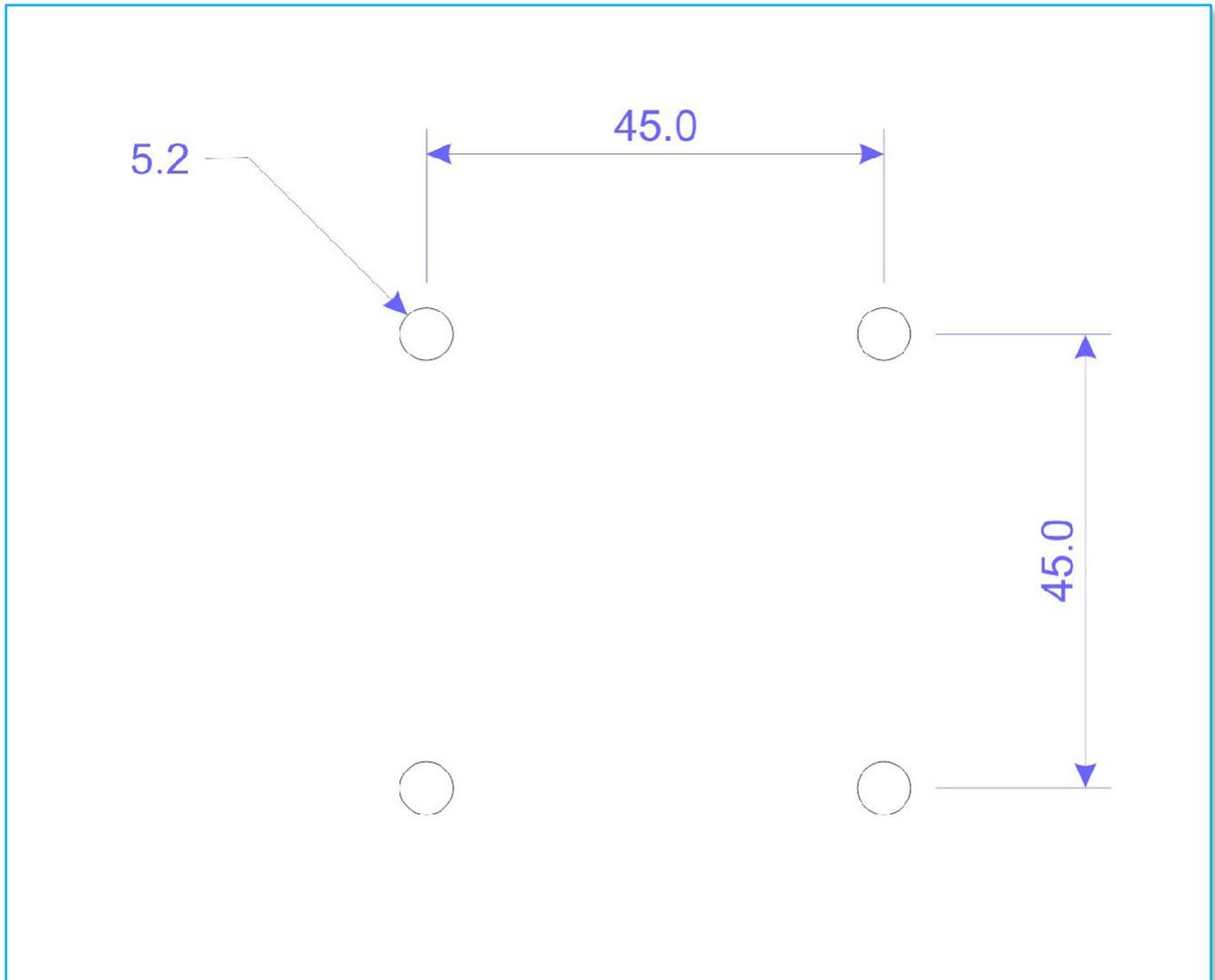
ハイインピーダンス(TX)モデルは、内部にハイインピーダンス用のトランスを内蔵しています。これはグリルを開けることで確認できる、下記図のようなインピーダンス設定用のタップによって設定変更できます。下記図はCDD5TX-WRとCDD6TX-WRのトランスタップを例に図示しています。100V使用時は図の下側の値を参照し、70V使用時は図の上側の値を参照したうえで設定します。



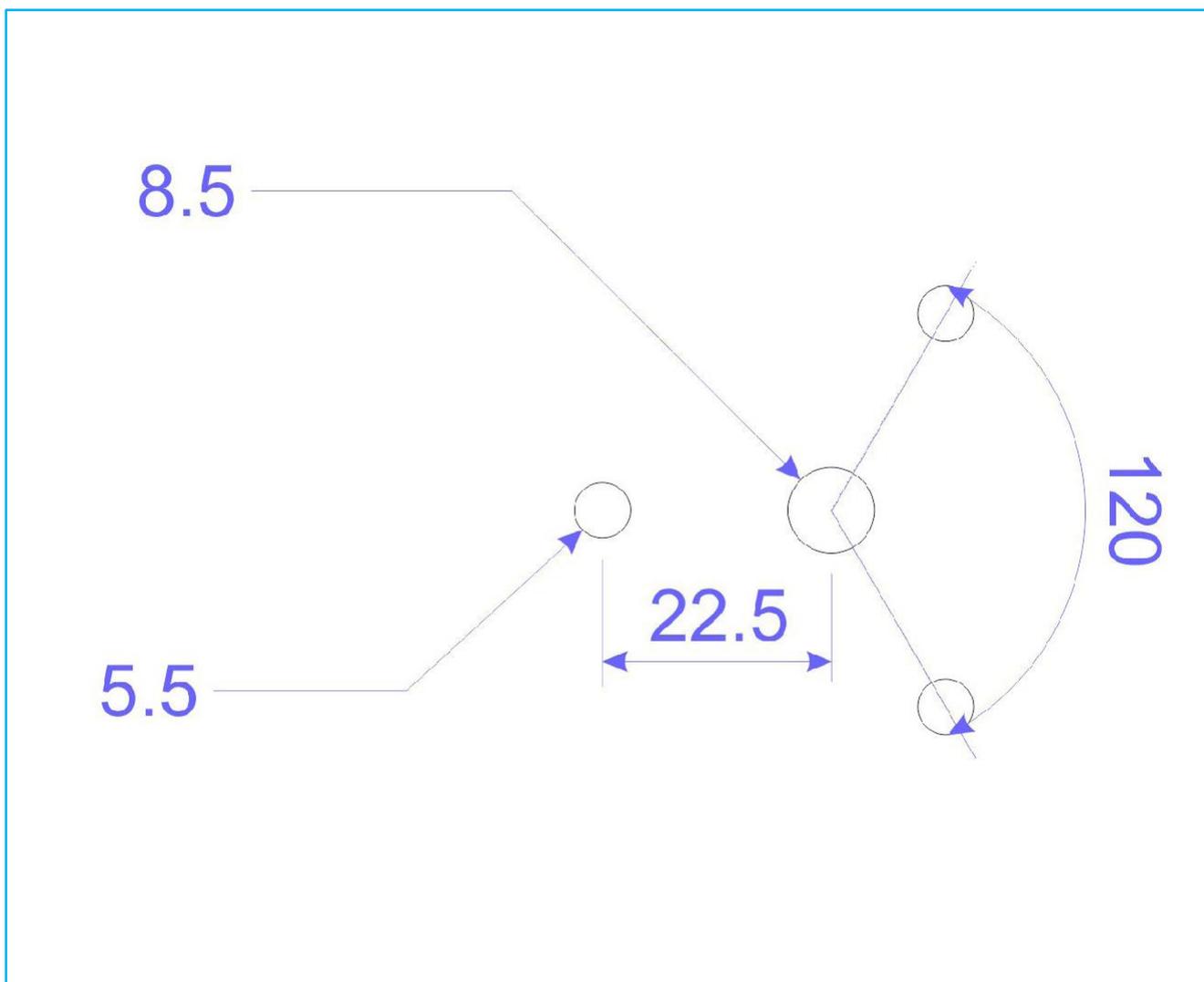
SW ポジション	70V ライン	100V ライン	70V ライン	100V ライン
1	ローインピーダンス(8Ω)		ローインピーダンス(8Ω)	
2	3 W	6 W	6.5 W	12.5W
3	6 W	12.5 W	12.5 W	25 W
4	12.5 W	25 W	25 W	50 W
5	25 W	n/a	50 W	n/a

# スピーカーブラケット穴位置テンプレート

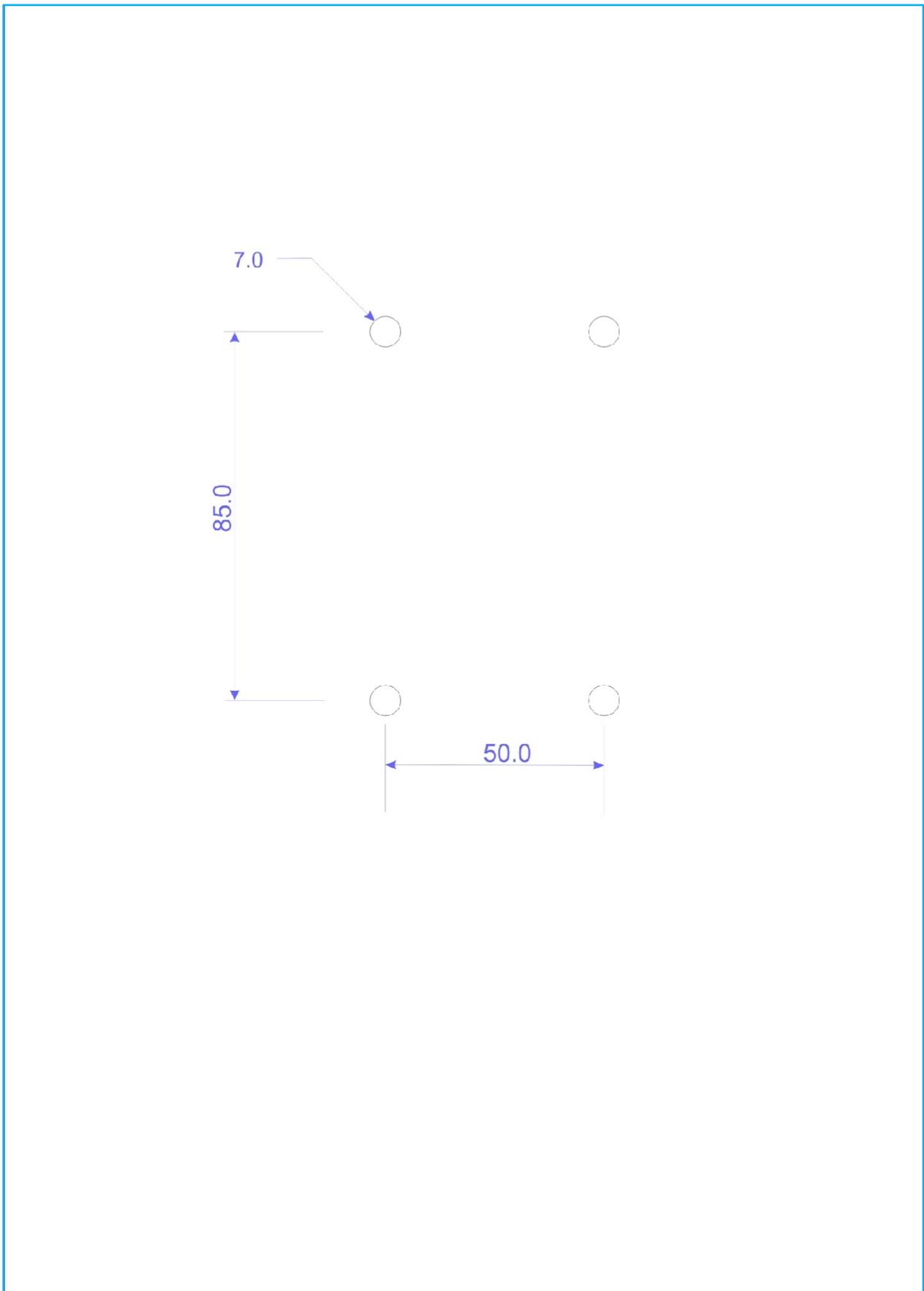
CDD5壁取付金具



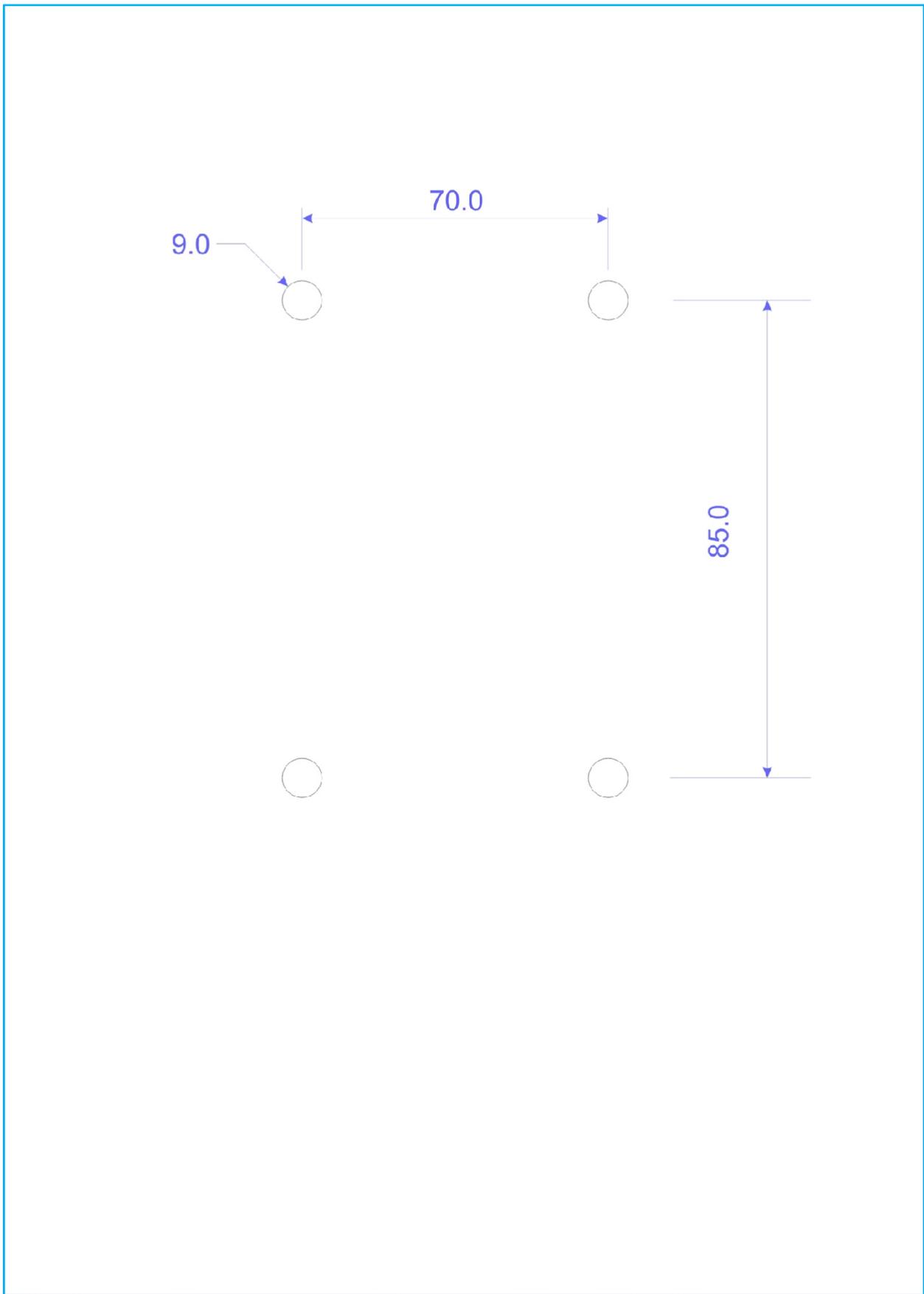
CDD5 天井取付ブラケット



CDD6 & CDD8 壁取付金具



CDD10 & CDD12 壁取付金具





**Unite Your Audience**  
The Martin Audio Experience

MARTIN AUDIO JAPAN inc.  
〒216-0034 神奈川県川崎市宮前区梶ヶ谷 3-1  
Tel: 044-888-6765